

令和6年度 第2回 龍ヶ崎市市民協働推進委員会

日 時： 令和6年10月16日(水)

午後1時30分から

場 所： 龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室

次 第

1 開 会

2 議 題

(1)市民活動サポート補助金について

(2)まちづくりポイント制度について

3 その他

4 閉 会

【配付資料】

[資料1-1] 市民活動サポート補助金の実施状況

[資料1-2] 市民活動サポート補助金事業実施報告会実績報告書

[資料2-1] まちづくりポイント制度の見直しについて

[資料2-2] 茨城県内市町村における住民公益ポイント制度の実施状況アンケート
調査

[資料2-3] 対象活動団体向けアンケート調査

[資料2-4] 市民アンケート調査

市民活動サポート補助金の実施状況

1 令和5年度実施状況

【スタートダッシュ支援】 枠:3団体中2団体

資料	団体名	活動内容
①	まちなか再生を考える会	歴史的建造物の調査、活用、発信によるまちなか再生
②	on the MUSIC	「on the MUSIC」の活動スタートに向けた準備

【ジャンプアップ支援】 枠:4団体中4団体

資料	団体名	活動内容
③	龍ヶ崎機関車推進協議会	龍ヶ崎竹灯籠アート「籠 KOMORU」2023
④	ど根性ひまわりの会	ど根性ひまわりを育てて、東日本大震災の被災地を応援しよう
⑤	NPO 法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会	竹内農場西洋館竣工 100 周年記念式典&交流会
⑥	たつのこプレーパーク遊んじゃ王	プレーパーク(冒険遊び場)事業

2 周知方法

りゅうほー、市公式 HP、市窓口、市民活動センターHP、ひびき、市民活動サポート補助金事業実施報告会(資料1-2)

様式第10号(第12条関係)

事業等成果書

事業等の名称	まちなか再生を考える会
事業等の実施場所	中嶋邸(上町)川北邸(横町)旧小野瀬邸(上町)その他 上町会館、商工会2階、市民活動センター多目的室
活動の分野 (該当する分野に✓を付すこと。)	<input type="checkbox"/> 保健, 医療又は福祉の増進 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 農山漁村又は中山間地域の振興 <input type="checkbox"/> 学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 環境の保全 <input type="checkbox"/> 災害救護 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発又は雇用機会の拡充 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体活動に対する助言・援助 <input type="checkbox"/> その他県条例で定める活動
事業等の目的	歴史的建造物の調査、活用、発信を通してまちなかを再生する
事業等の内容	① 中嶋邸(上町)川北邸(横町)旧小野瀬邸(上町)など、建築専門家による調査、研究、及び、発表 ② 中嶋邸での活用イベントを通して、まちなかの魅力発信、広報
事業等による効果	① まちなかの魅力は、龍ヶ崎の魅力の大きな一面であり、市民がそのことに気づくことでわが町への誇りと愛着を醸成する。 ② 市内4つの地域のつなぎ目として交流を果たす。
事業等の期間	令和5年6月1日 ~ 令和6年3月29日
事業等実施までのスケジュール	令和5年6月4日(日) 中嶋邸「お香の会」12名参加 令和5年6月16日 中嶋邸・川北邸・旧小野瀬邸などを建築専門家5名による調査・所見集作成 令和5年10月8日(日) 中嶋邸「イングランドの田園を巡って」27名参加 令和5年11月10・19日(日) 川北邸「見学会」合計73名参加 令和5年12月10日 上町会館「郷土に因む 日本草分けの女性詩人たち <英 美子>と<沢 ゆき>」58名参加 令和6年1月28日 中嶋邸「お茶と椿を楽しむ会」31名参加
補助期間終了後の事業等継続の有無	(有) ・ 無

様式第10号 (第12条関係)

事業等成果書

事業等の名称	「on the MUSIC」の活動スタートに向けた準備
事業等の実施場所	龍ヶ崎ツョッピングセンター サフロ
活動の分野 (該当する分野に✓を付すこと。)	<input type="checkbox"/> 保健, 医療又は福祉の増進 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 農山漁村又は中山間地域の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 環境の保全 <input type="checkbox"/> 災害救護 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発又は雇用機会の拡充 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体活動に対する助言・援助 <input type="checkbox"/> その他県条例で定める活動
事業等の目的	<p>プロの演奏家による上質な演奏を、 龍ヶ崎市の皆様に聴いていただく機会をつくる。 中層広く多くの人々がクラシック音楽を身近に感じられる コンサートを地域イベント等で開催するとともに、文化芸術が盛んな町になる。</p>
事業等の内容	<p>プロの演奏家を招きコンサートを開催。午・エ・南で活動する コアアーティスト 森重利なさんと、島山のクラリネットデュオの コンサートを30分。なじみのある曲から、クラシックまで5曲を 演奏した。</p>
事業等による効果	<p>喜ぶ声が高いとされ、クラシック音楽のイメージを 和らげるとともに、コアなファン以外にも多くの人々に「本物の音楽 に出会える機会」となった。皆さん笑顔で聴いており、 一緒に合唱、手拍子などして一体感も出てきた。</p>
事業等の期間	令和6年1月21日 ~ 令和6年2月18日
事業等実施までの スケジュール	<p>令和6年1月 チラシ制作 備品見直し リハーサル 2月 活動スタート本番</p>
補助期間終了後の 事業等継続の有無	<p>(有) ・ 無</p>

様式第10号(第12条関係)

事業等成果書

事業等の名称	龍ヶ崎竹灯籠アート「籠 KOMERU」2023
事業等の実施場所	石蔵館 新町4100
活動の分野 (該当する分野に✓を付すこと。)	<input type="checkbox"/> 保健, 医療又は福祉の増進 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくりの推進 <input checked="" type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 農山漁村又は中山間地域の振興 <input type="checkbox"/> 学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 環境の保全 <input type="checkbox"/> 災害救護 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発又は雇用機会の拡充 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体活動に対する助言・援助 <input type="checkbox"/> その他県条例で定める活動
事業等の目的	まちの賑わいを取り戻し、龍ヶ崎の風物詩として関東一円に知らしめ人を集める。
事業等の内容	新町の石蔵館広場に竹灯籠4000本と細工竹灯籠30本を飾り付け、龍ヶ崎を宝珠の里としてアートを表現、また、その物語をプロジェクトマップで演出する。また、これらに参加するボランティア同士のコミュニケーションを図り市民の繋がりや若者の交流に寄与したい。
事業等による効果	<p>目的に対しての効果は、竹灯籠アートの3日間の開催時の来場者数は8,039人(終了間際カウンターの故障により実測できず、ただしその後もかなりの人が入場したので1万人は入場したと思われる。)また、準備作業時からのボランティア参加者数は209人でこのうち148人は高校生です。この様に市民と学生との協力、コミュニケーションに大変寄与しました。</p> <p>龍ヶ崎駅そばの商店主が駅から降りられて来られた方々に何をしに来たのか聞くと竹灯籠を見に来たとみなさん応えられたとの事、また、会場へ入場される方が何の迷いも無く入場されるのを見て符合しました。かなり認知度が上がったと感じます。</p>
事業等の期間	令和5年6月7日 ~ 令和5年8月10日

<p>事業等実施までの スケジュール</p>	<p>5月19日各高校へボランティア募集案内（愛国学院、竜一、竜二、竜南） 6月1日竹の伐採・確保（八代竹林、別所竹林） 6月5日より竹灯籠の製作開始 6月10日・17日学生に対する製作キックオフ開催 7月10日龍ヶ崎市駅のエスカレーター壁面へチラシ掲示、 関東鉄道にチラシ配布（常総線、車内掲示）、各お店等チラシ配布 7月11日関東鉄道竜ヶ崎駅に竹灯籠を事前展示 （関東鉄道の創業123周年イベント8月まで展示） 7月13日竹灯籠4,000本、造作竹灯籠30本完成 7月17日から20日まで展示準備 7月21日・22日・23日開催（22日津軽三味線の演奏） 7月24日後片付け（高校生45人参加） 8月10日学生向けボランティア活動証明書の発行</p>
<p>補助期間終了後の 事業等継続の有無</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>

様式第10号(第12条関係)

事業等成果書

事業等の名称	ど根性ひまわりを育てて、東日本大震災の被災地を応援しよう
事業等の実施場所	さんさん館前花壇、各学校、市内全域(各家庭)、その他
活動の分野 (該当する分野に✓を付すこと。)	<input checked="" type="checkbox"/> 保健、医療又は福祉の増進 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 農山漁村又は中山間地域の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 環境の保全 <input checked="" type="checkbox"/> 災害救護 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発又は雇用機会の拡充 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体活動に対する助言・援助 <input type="checkbox"/> その他県条例で定める活動
事業等の目的	ど根性ひまわりを育てることを通して、東日本大震災の被災地を応援する。また、活動を通して、市民の防災意識を高める。
事業等の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ど根性ひまわりの種を市内の小学生や市民の希望者に配る。 2. さんさん館花壇でど根性ひまわりを栽培する。 3. ひまわりの写真を募集し、写真展を開催する。 4. ひまわりの写真集を作成し、被災地に送る。
事業等による効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小中学校と各コミュニティセンターの協力のもと、小学生と中学校および、一般の希望者にひまわりの種を配付し、夏には市内のいろいろな場所で花が咲いた。 2. さんさん館花壇にど根性ひまわりの花をさかせ、通行人や散歩をする人達等多くの人の目にとまった。 3. 1月にサブラ・光のモールにおいて、ど根性ひまわり写真展を開催した。応募者が多く、絵画での参加もあった。 4. 写真集を作り、参加者に配付及び市内コミュニティセンターで掲出するとともに、宮城県石巻市(社会福祉協議会、公民館、図書館等)に送った。今後、写真集は現地の写真展(会場・みやぎ東日本大震災津波伝承館)の折と一緒に展示する予定。 5. 活動を通して、市民の方々と防災の話をする機会があり、防災意識の高まりが感じられた。
事業等の期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月19日

<p>事業等実施までの スケジュール</p>	<p>令和5年4月 ど根性ひまわりの種配付。 令和5年5月～6月 ど根性ひまわりの種蒔きと苗の移植。 令和5年6月～9月 水やりと草取り等 令和5年9月～10月 ひまわりの写真募集 令和6年1月 サプラにおいて、写真展を開催 令和6年2月～3月 写真集の作成と送付</p>
<p>補助期間終了後の 事業等継続の有無</p>	<p>① ・ 無</p>

様式第10号(第12条関係)

事業等成果書

事業等の名称	竹内農場西洋館竣工100周年記念式典&交流会
事業等の実施場所	竹内農場西洋館及び長山コミュニティセンター
活動の分野 (該当する分野に✓を付すこと。)	<input type="checkbox"/> 保健, 医療又は福祉の増進 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 観光の振興 <input type="checkbox"/> 農山漁村又は中山間地域の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興 <input checked="" type="checkbox"/> 環境の保全 <input type="checkbox"/> 災害救護 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成の促進 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発又は雇用機会の拡充 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体活動に対する助言・援助 <input type="checkbox"/> その他県条例で定める活動
事業等の目的	大正9(1920)年に竣工した竹内農場西洋館は大正期に建設されたレンガ建築物として文化財的な高い価値を有している。そこで、この建築物の竣工100周年を祝うイベントを開催し、龍ヶ崎市民をはじめ多くの方々に西洋館の存在と価値を知っていただくとともに、施主・竹内明太郎の歩んできた足跡を振り返ることを目的とするものである。
事業等の内容	第1部：竣工100周年記念式典 ・来賓挨拶(4名) ・「祝典アンサンブル」演奏 ・見学ガイド「西洋館のレンガ建築としての特色」 第2部：出席者による交流会 ソフトドリンク、軽食の立食形式の交流会
事業等による効果	50名(関係者を含めて)の参加者があり、103年前に竣工した竹内農場西洋館に想いを馳せることができた。龍ヶ崎市に残された大正時代の貴重な文化財を今後、どのように保存修復・活用していくかについて考える取っ掛かりになったと言える。
事業等の期間	令和5年 7月 1日 ~ 令和5年 11月 15日
事業等実施までのスケジュール	令和5年7月 来賓者への出席依頼(竹内氏、コマツ、市長) 令和5年7月 テント、仮設トイレのレンタル発注。 令和5年7月 長山小学校に駐車場の借用申請。 令和5年7月 広報(ポスター掲示、チラシ配布、SNS発信) 令和5年7月20日 社会福祉協議会にパイプイス等借用申請 令和5年10月21日 式典&交流会開催 令和5年10月23日 式典会場テント、仮設トイレ撤収完了 令和5年10月26日 仮設トイレ支払いを持って全て支払い完了
補助期間終了後の事業等継続の有無	有 ・ 無

市民活動サポート補助金事業実施報告会事業報告書

○事業概要

令和5年度に実施した市民活動サポート補助金（ジャンプアップ支援）の事業について、事業実施団体が活動の成果を発表する報告会を開催した。

■日 時	令和6年9月14日（土）午前10時～午前11時30分
■参加者	17名+4名（説明者） 計21名
■内 容	<p>1 市民活動サポート補助金事業について〈10:00～10:05〉 事務局から補助金制度を説明</p> <p>2 令和5年度ジャンプアップ支援活用団体による事業実施報告〈10:05～11:05〉 下記4団体から事業実施を報告【13分×4団体】 (1) 龍ヶ崎機関車推進協議会 (2) ど根性ひまわりの会 (3) NPO 法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会 (4) たつのこプレーパーク遊んじゃ王</p> <p>3 交流会〈11:05～11:30〉 出席者及び報告者が4か所のテーブルにランダムに座り、「補助金を活用するならどのような事業を実施したいか」を議題としてワークショップを行い、最後に各班から意見報告を受けた。</p>
■意 見	<p>A 班：団体間で団結して何かしたい。交流会を通じて、他団体の活動を知る機会となった。金銭は無くとも活動したい。西洋館のペーパークラフトを作成し、子供たちに遊んでもらえば西洋館を知ってもらう機会となる。</p> <p>B 班：市補助金に頼るだけでなく、財団基金など民間の補助制度の情報が欲しい。活動を行う際は何がやりたいのかを確立しないと活動にブレが生じるので自分を知ることが大事。</p> <p>C 班：プレーパーク事業は行政が行う事業だと思ったが、団体が自立して活動を継続することが大切。まちの歴史的建造物ガイドは不足しているので、ガイドを育成して観光客から有料でガイドを行う。空き店舗、空き家で観光案内所兼カフェにしては。</p> <p>D 班：作品の制作や展示を行う機会や場所を作りたい。事業継続のためにできることを考えたい。補助金は最大2年の申請だが継続した補助をしてもらいたい。</p>

まちづくりポイント制度の見直しについて

1 目的

まちづくりポイント制度は、市が指定する市民活動に参加する市民の皆さんへポイントシールを配布し、その枚数に応じてさまざまな景品などと交換できる制度です。

平成26年1月のポイント制度開始以来、一定期間が経過したため、ポイント制度の検証を行い、見直しを図ります。

2 調査内容

(1) 茨城県内市町村における住民公益ポイント制度の実施状況アンケート調査の課題や意見【資料 2-2】

(2) 対象活動団体向けアンケート調査の課題や意見【資料 2-3】

- ①ポイントシール対象活動であることを協力者・参加者に知らせていない。
- ②ポイントシールを配布していない。
- ③希望するポイントシールの配布方法は紙媒体の継続が多数の回答。

(3) 市民アンケート調査の課題や意見【資料 2-4】

- ①市民活動への興味が薄い。情報が少ない。
- ②ポイント制度の認知度が低い。
- ③ポイント有効期限が短い、ないほうがいい。
- ④ポイントが貯まらないので、少ないポイント交換メニューが欲しい。
- ⑤活動してもポイントシールが配布されない。
- ⑥対象者が限定されている。
- ⑦電子媒体を望む割合が高い。

3 市の課題

- (1) 特定の世代（特に高齢者）の利用に集中
- (2) ポイント対象活動の整理
- (3) 交換メニューの見直し
- (4) ポイントシールの管理
- (5) キャラクター
- (6) 紙媒体、デジタル媒体、併用
- (7) 活動参加者に確実にポイントが届く仕組み
- (8) まちづくりポイント制度及び寄付に関する要綱の取り扱い

茨城県内市町村における住民公益活動ポイント制度の実施状況アンケート調査について

当市を除く茨城県内43市町村に、以下質問事項で構成したアンケート調査を実施しました。

実施期間 令和6年8月28日(水)～令和6年9月20日(金)
回答率 55.8% (24/43)

※未回答:19自治体(10月1日現在)

土浦市、石岡市、常総市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、潮来市、坂東市、神栖市、行方市、つくばみらい市、城里町、東海村、大子町、美浦村、境町

質問 1 貴自治体が指定する住民活動(環境美化活動・防犯活動・防災活動など)に協力または参加する住民または住民団体が行う活動に対して、ポイントを付与し、その枚数に応じて様々なサービスが利用できる制度はありますか。当てはまる答えをひとつ選んでください。

【注意】ウォーキング等の健康活動のみ対象とするポイント制度や自治体マイナポイント制度は除外します。

制度あり:1自治体 日立市 →質問3へ

制度なし:22自治体

古河市、ひたちなか市、小美玉市、常陸太田市、鹿嶋市、下妻市、桜川市、八千代町、利根町、水戸市、結城市、守谷市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、銚田市、大洗町、阿見町、五霞町、稲敷市、茨城町、河内町 →質問2へ

以前は実施していたが現在は実施していない:1自治体 かすみがうら市 →質問2へ

質問 2 貴自治体で住民公益活動ポイント制度実施していない理由で、当てはまるものを選んでください。(複数選択可)

費用対効果が得られない。

2自治体 かすみがうら市、小美玉市

制度自体に要望やニーズがない。

3自治体 稲敷市、茨城町、河内町

制度実施について検討したことがない。

10自治体 水戸市、結城市、守谷市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、銚田市、大洗町、阿見町、五霞町

(複合) 制度自体に要望やニーズがない・制度実施について検討したことがない。

4自治体 下妻市、桜川市、八千代町、利根町

(複合) 他制度を実施している。または他制度に乗り換えた・その他

1自治体 古河市

→高齢者シニアボランティアポイント事業(高齢介護課所管・紙にスタンプの形式)

→その他：市民から携帯アプリを使った、市民活動等へのボランティアポイントに関する提案があり、商工観光課において市における必要性等を検討中。現時点では、当市において導入の可否を決める段階には無い。

その他 3自治体

ひたちなか市

住民活動へ参加・協力することでポイントを付与する制度の実施予定はありません。

類似の事業として、福祉部門(高齢福祉課)において「ひたちなか市つるかめポイント事業」と呼ばれる65歳以上の高齢者向け制度があります。

元気アップ体操教室など「通いの場」への参加や、体操の指導者として「ボランティア活動」を行うことでポイントが貯まり、記念品と交換できる取組となっています。

常陸太田市

検討中

鹿嶋市

財政事情により、新規予算の計上が難しいため

【以降の質問は、日立市のみが回答】

質問3 貴自治体で実施しているポイント制度について、ポイントの付与対象者、付与対象事業、付与ポイントの内訳及び付与方法を具体的に教えてください。

ポイント付与対象者：日立市内で行われる活動の参加者、日立市内の店舗、団体等の利用者

付与対象事業：イベントや活動への参加、各地域で行われる環境美化や防災等の活動、店舗への来店など

付与ポイントの内訳：(例) 地域の一斉清掃に参加・・・500ポイント

ラジオ体操に参加・・・100ポイント

付与方法：コミュニティ通貨アプリ「まちのコイン」を使用して専用QRコードを読み取ることで付与
※ポイントは換金できません。

※付与対象事業及び付与ポイント数の選択・決定は、各種活動やイベントを主催する団体や事業者に一任しています。

質問4 ポイントの付与方法などの電子システム化についてお聞きします。最も当てはまる答えをひとつ選んでください。

既にシステム化している。

質問5 ポイントの付与方法などの電子システム化について、検討中または既にシステム化している自治体にお聞きします。システムの名称、システム事業者名、初期導入費用・年間維持費用について、具体的に教えてください。

システムの名称：まちのコイン
システム事業者名：株式会社カヤック
初期導入費用：3,520,000 円（導入支援委託料）
年間維持費用：1,320,000 円（システム利用料・12 月分）

質問6 ポイント交換できる品物などのメニューについて、具体的に教えてください。

売れ残ったが捨てるにはもったいないもの、地域の方などから寄付されたもの、普段はできない特別な体験など、お金のかからないものが中心です。

- ・オリジナルグッズ（アクリルたわし、鍋敷き、爪楊枝入れ等）・・・50～300 ポイント
- ・地域でとれた野菜や、植物の苗・・・100～200 ポイント
- ・寄贈された本・・・200 ポイント
- ・布マスク・・・100 ポイント
- ・動物園での餌やり体験・・・500 ポイント

※交換対象及び必要なポイント数の設定は、各団体に一任しています。

質問7 貴自治体のポイント制度における、メリット・デメリットを具体的に教えてください。

メリット

- ・既にあるアプリを利用することで、システムの構築等にかかる費用や労力を削減できる。
- ・事業者への補助金など、経常的な費用を安価に抑えることができる。

デメリット

- ・換金性がない（1 ポイント=1 円でない）ポイントであるため、短期間での利用者数の急増が起きにくい。

【対象活動団体向け】まちづくりポイント制度アンケート調査 集計結果報告(令和6年8月実施)

アンケート調査の概要

■調査の目的

まちづくりポイント制度の運用開始から10年が経過したことから、ポイントシールの配布・活用状況などを把握し、同制度の今後の方向性や、市民活動の促進・活性化などに向けた事業への参考とする。

■調査対象

令和6年度対象活動分のポイントシール交付団体(79団体)

■調査期間

令和6年7月29日(発送)から8月30日まで

■調査方法

交付申請者へアンケート用紙と返信用封筒を郵送

■回答数

対象団体:79団体/回答数:52件/回答率:65.8%

目次

◆ 問1: 団体の種類	1
◆ 問2: 協力者・参加者を増やすためにポイントシールを活用していますか	1
◆ 問3: ポイントシールが配布される活動であることを協力者・参加者に知らせていますか	1
◆ 問4: ポイントシールは協力者・参加者へどのように配布していますか	2
◆ 問5: 今後も団体の活動に、まちづくりポイント制度を活用したいですか	2
◆ 問6: 問5で【今後も活用したい】と選択した理由	2
◆ 問7: 問5で【もう活用したくない】と選択した理由	3
◆ 問8: 希望するポイントシールの配布方法	3
◆ 問9: 問8で回答した理由	4
◆ 問10: まちづくりポイント制度の活用以外で、団体活動の拡大や発展、継続のために取り組んでいること	5
◆ 自由記入	6~7

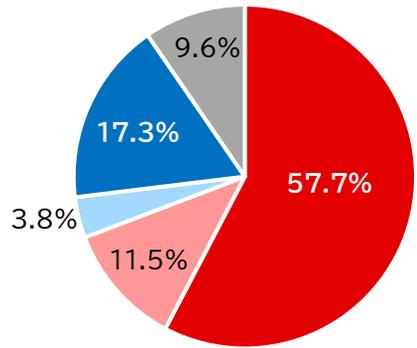
回答結果

◆ 問1: 団体の種類

	回答数	割合
住民自治組織(区・自治会・町内会等)	30	57.7%
中核的な地域コミュニティ	6	11.5%
NPO法人	2	3.8%
ボランティア団体	9	17.3%
その他	5	9.6%
計	52	100.0%

●その他(計5件)の内訳

- ・ 長寿会:4件
- ・ 馴染地区花いっぱい運動連合会:1件



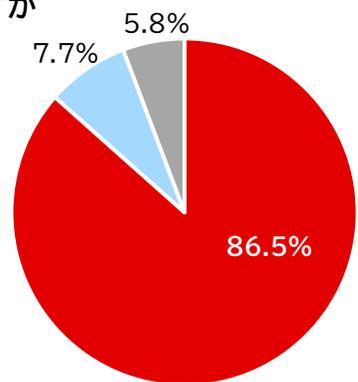
- 住民自治組織(区・自治会・町内会等)
- 中核的な地域コミュニティ
- NPO法人
- ボランティア団体
- その他

◆ 問2: 協力者・参加者を増やすためにポイントシールを活用していますか

	回答数	割合
活用している	45	86.5%
活用していない	4	7.7%
その他	3	5.8%
計	52	100.0%

●その他の内容

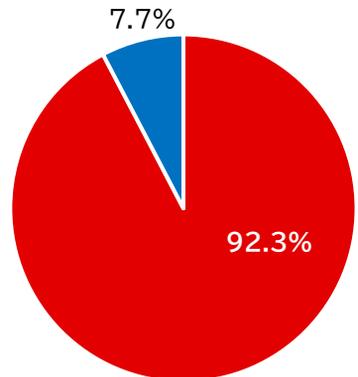
- ・ クリーン活動の際、希望者に配布しているがほとんど関心がない
- ・ ポイントシールでは協力者・参加者を増やすことにつながってないと思う
- ・ 地域住民の高齢化ですべての事柄で参加者が少なくなり難しくなっている



- 活用している
- 活用していない
- その他

◆ 問3: ポイントシールが配布される活動であることを協力者・参加者に知らせていますか

	回答数	割合
知らせている	48	92.3%
知らせていない	4	7.7%
計	52	100.0%

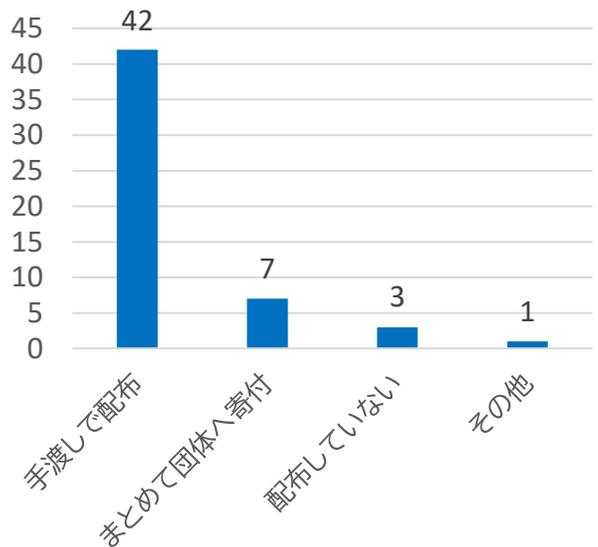


- 知らせている
- 知らせていない

回答結果

◆ 問4: ポイントシールは協力者・参加者へどのように配布していますか(複数選択可)

	回答数
手渡しで配布している	42
まとめて団体へ寄付している(参加者等の同意を得ている)	7
配布していない	3
その他	1
計	53

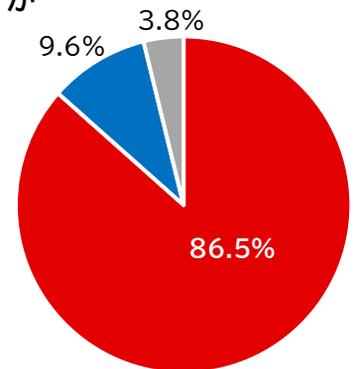


●その他の内容

- ・ 1人10枚前後なので配布後個人的に集めている人に渡しているのが多いと思う

◆ 問5: 今後も団体の活動に、まちづくりポイント制度を活用したいですか

	回答数	割合
今後も活用したい	45	86.5%
もう活用したくない	5	9.6%
その他	2	3.8%
計	52	100.0%



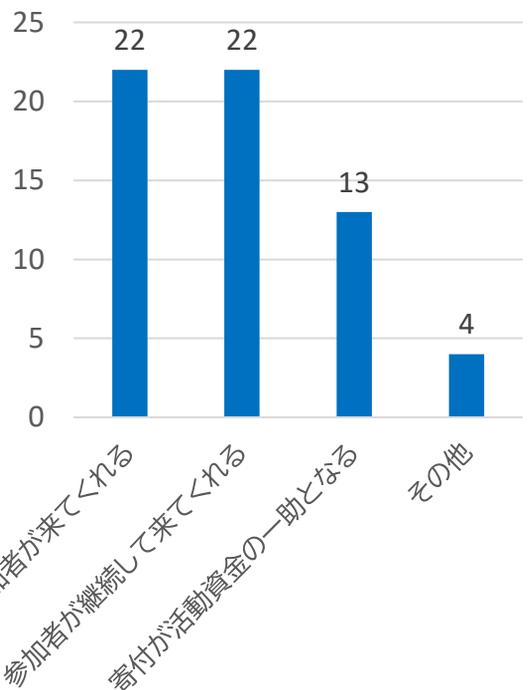
●その他の内容

- ・ 制度の理解がされていない

- 今後も活用したい
- もう活用したくない
- その他

◆ 問6: 問5で【今後も活用したい】と選択した理由(複数選択可)

	回答数
ポイントシールを配布すると、新規の参加者が来てくれるから	22
ポイントシールを配布すると、参加者が継続して来てくれるから	22
寄付されたポイントシールが活動資金の一助となるから	13
その他	4
計	61



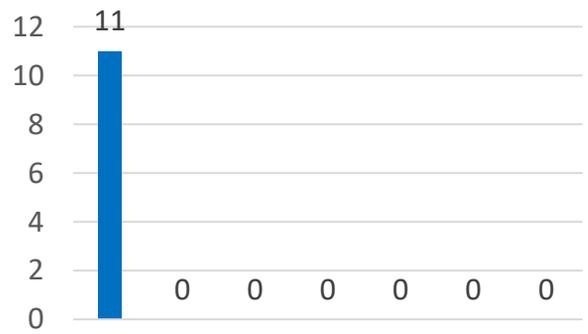
●その他の内容

- ・ シールを渡すことで感謝が伝えられるから
- ・ 各々がまとめて、後で他に寄付する楽しみ
- ・ 高齢化が進んでいるので、手渡しで世間話等で健康等の確認ができる。
- ・ 人数は少ないが、ポイントシールを活用する人がいるから

回答結果

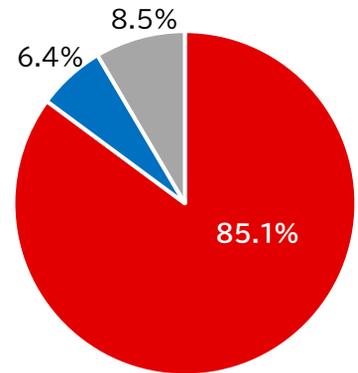
◆ 問7: 問5で【もう活用したくない】と選択した理由(複数選択可)

	回答数
ポイントシールを配布しても、参加者の増加につながらないから	11
計	11



◆ 問8: 希望するポイントシールの配布方法

	回答数	割合
紙媒体(現在の方法)	40	85.1%
電子媒体(スマートフォン等を利用してポイントを収集する方法)	3	6.4%
その他	4	8.5%
計	47	100.0%



● その他の内容

- ・ 高齢者が多いため
- ・ 紙媒体と電子媒体の両方
- ・ 手軽に獲得できるため
- ・ 団体活動の場合は商品券
- ・ 年齢が高くわからない人たちが増えている
- ・ 不必要

- 紙媒体(現在の方法)
- 電子媒体(スマートフォン等を利用してポイントを収集する方法)
- その他

◆ 問9:問8で回答した理由

紙媒体(現在の方法)と回答した理由

シニアの協力者が多いので電子媒体だと使い方が分からない人の協力が減る可能性がある
 スマートフォンを扱えない高齢者が多い
 スマホが使えない方にも渡しているので
 その時々その場でシールを渡すと実感がわく
 たつのこやま→筑波山→富士山と目標があるから
 ポイントシールで個人の参加日数により分配している
 ポイントシールと活動の趣旨を説明している
 各個人を確認しながら配布(手渡し)できるから
 活動する者は高齢者ばかりなので、電子媒体は馴染めない
 活動後その場で参加者に配布できる
 現在の方法が良いが、社会的に紙使用は控える方法を取るようになっているので、スマートフォン等でも良いと思います。
 現在の方法だと安心感がある、また地域の活性が上がる
 現場で配布すると、目に見えて増えていることを実感できる。
 高齢者(70歳以上)の参加者が多いため紙媒体がベスト。電子媒体使用できない。
 高齢者が多く、電子媒体は活用が難しい
 高齢者が多くスマホ等の活用(操作)が不得意のため
 高齢者の方にも配布しやすい
 今まで通りで良いと思う
 自治会の防犯パトロールを継続しているのでそのまま引き継ぎをしています。
 執行部で配布名・番号を記入し、各班長へ渡し、各班長が個々に配る
 住民と自治会と直接触れ合うことができ、コミュニケーションが図れる
 出席名簿→シール配布(奉仕日)毎月台帳管理→3月報告書提出
 申請して紙媒体をコピーして記録として残るので参加者に理解してもらえる。
 申請し給付を受ける
 全ての人電子媒体を使用できるとは思えないため
 直接手渡しすることにより、各自の実績を実感できる
 電子媒体を利用するには無理がある。スマートフォンの管理(ポイント等データが多すぎ)が不安
 年配の方でスマートフォン等での利用が難しい人がある
 年配者が多いため、電子媒体は持参しているのが少ない。所有していても会話程度でメール等は無理。
 配布する方も受け取る側も、希望と信頼が湧いて楽しく活動できる
 分かりやすいし、配布しやすい
 老若男女の皆さまが対象でスマートフォンを使いきれない

電子媒体(スマートフォン等を利用してポイントを収集する方法)と回答した理由

仕事の都合で取りに行く時間がないため
 紙媒体だと失くしてしまう心配がある

その他と回答した理由

ポイントシールの活用については各個人各々で管理上まとまらなかつたりしますので、団体への活動支援として商品券等の支給ありがたい。
 若い方は電子媒体が、年配の方は紙媒体が使い勝手が良いのではないかと思います。
 主な活動は街区公園及び学童通学路の除草で、各回参加者へはくじ引きによる配布を実施している。

◆ 問10: まちづくりポイント制度の活用以外で、団体活動の拡大や発展、継続のために取り組んでいること

11月・3月の美化活動の参加者へ区会で購入した飲料水を配布しているが、市で補助できる範囲で配布物があっても良いと思われる

①刈払機持参の参加者には年に1枚替え刃を配布②参加者全員に年に1枚軍手配布③飲み物を参加ごとに1本配布(熱中症予防)

グランドゴルフ、パタンク、輪投げ等に力を入れて活動

これまでの先輩方が継続して活動に参加され、ご意見等をいただきながら活動の輪をさらに広げます。

ボランティアの活動なので、動機づけのため更なる呼びかけをしている「防犯活動」

会員が定例会等を通して、楽しく活動することを進めている。

会員募集の貼り紙等を掲示したり、活動センターで募集機会を作っています。

活動内容・活動日時等細めに知らせている

活動内容をチラシにまとめ、地区内に回覧することを検討しています。

企業の助成金を活用しています

交流会等の実施

高齢化による引きこもりを少なくするため、自治会館を無料化し、少人数またはグループを結成してもらって、自治会館を自由・有効に活用してもらえるように開放している。開館利用予約は自治会ホームページを開設し、ホームページからPC・スマホで予約できる。

今年度障がい者のグループホームが完成します

細かに声かけする

参加者を増やすためには、自治会で何をやっているのか知らないと参加できない。そのため、自治会の活動を細かく伝えるために毎月、回覧の時に手紙を書いている。

私がポイントシール申請したのが4年前です!!会員、一生懸命行っているのに年配であまり興味等がないので、町内会・防犯活動を同時に申請し活性化を狙った。

自治会内での活動(カラオケ・各運動)等で進めているが、新規加入者がほとんどいないために、年々年齢が上がり、高齢でリタイアが増えて、結果だんだんと縮小してきている。

除草活動の実働は毎回3~4時間としているので、自治会からはお茶(ペットボトル)、時にコンビニ弁当の助勢(差し入れ)をしてもらっている。

新しい講座の開設も含めて新規事業に向けた話し合いをしている。また新規事業の際には助成金の確保に向けた取り組みを続けている。

当コミュニティ協議会では、各委員会及び役員会において全委員参加のもと、十分話し合い意思決定を行っています。そのため、各委員のモチベーションが高まっています。

年に1度地域の懇談会をする(地域祭り)

防災訓練兼トン汁大会を11月に毎年実施している。目的は住民同士のコミュニケーションを図り、防災・防犯の一助としたい。

◆ 自由記入

ポジティブな意見

とても良い制度です。ぜひ続けてください。市内一斉清掃では、10～20名の参加だったところ、今では100名を超えています。

ポイント制度は大変良い

本制度は高齢者にとっては、夢と希望を与えてくれます。シールを交換する時の感動はこれまでにない楽しさと感動がもらえます。この制度があることで長生きしているものと思っています。ぜひ続けて交換メニューも多く広げてくださるようお願いいたします。特に、ゆったり館が使用できなくなっていますが、他のサウナ施設は使用できないもののでしょうか？よろしく検討してください。

良い制度

個人でのポイントシール収集は効率が悪く、利用者が無いため全員の承諾を得て自治会で取りまとめている。自治会で取りまとめたポイントシールを商品に交換し、自治会のイベント等で使用しており、非常に有効である。今後も継続をお願いしたく思います

防災訓練、世代交流お楽しみ会、廃品回収事業(年4回、3・6・9・12月に実施)、防犯活動(学童の送迎見守り等)、通学路及び児童公園の清掃及び草刈り等の参加者対象で、総菜やお茶及びお茶菓子等に使用。町会の経費が少ないので助かっています。

とても良い制度です。ぜひ続けてください。市内一斉清掃では、10～20名の参加だったところ、今では100名を超えています。

ポイント制度は大変良い

本制度は高齢者にとっては、夢と希望を与えてくれます。シールを交換する時の感動はこれまでにない楽しさと感動がもらえます。この制度があることで長生きしているものと思っています。ぜひ続けて交換メニューも多く広げてくださるようお願いいたします。特に、ゆったり館が使用できなくなっていますが、他のサウナ施設は使用できないもののでしょうか？よろしく検討してください。

良い制度

意見・要望など

10年経ってまちづくりポイント制度についてマンネリ感がある。ポイントシールをうまく活用している団体の事例発表会などを開催してはどうか。他の事例を聞くことで刺激を受け、活用が進むことも期待できる。

ポイントシールがもらえる活動が少ない

ポイントシールに期限があるために個々に集めていると第1ステージすら貯まる前に期限が来る人がたくさんいる。もうすこしどうにかできないのかと思うが？

ポイントシールの単価を引き上げては？ボランティアは無料奉仕が美德でしたが昨今は物価の上昇で最低賃金の引き上げに踏み切りました。70歳くらいまでは働いているため、訓練や奉仕活動等は多少の粗品では集まらず、集める側の役員も敬遠しがちで暗い気持ちが残る。

ポイントシールは20枚以上集めないと使用できず、廃棄を受け取らない方が増加している。使用可能枚数を下げてほしい。例えば「マイリュウ福祉センター」等で2枚でコーヒーを飲めるようにして頂きたい。20枚以上集めるには至難の業である。年間20回以上の行事を行うことも不可能に近い(できない)

ポイントシールを配布しても「貯まらないから要らない」という方が多い。少ない枚数での活用法や高齢者の社会参加へのポイントシール配布など何らかの改善が必要だと思えます。

ポイントの単価をもう少し上げてほしい

ポイント制度の継続を含め、ボランティア活動中の実施評価などを現場で見ってもらう機会があると張りが出る。

ポイント制度を一概に廃止とは言わないが、無くても良い制度と思われる

ポイント制度を利用している人はかなり少数の様様。集めるのも時間がかかり、有効な施策になっていない。参加者にすぐ還元できるもの(例えば市指定ごみ袋など)を配布する方が喜ばれる気がします。

まちづくりポイントシールをまいりゅうカードに交換しましたが、びっくりするくらい使えるお店が少なかったです。ポイントシールをもらっても捨てちゃうのよねーと言われる。そういう方にお会いして寄付していただくことがあります。

◆ 自由記入(その2)

意見・要望

もっと市民に認知されるように広報活動をしたら良いでしょう。

会員から会費を徴収してボランティア活動を行っており、補助金は無く、ポイントシールで一部会員からの寄付で補っているのが現状です。活動回数が多い我々にとって、1人20回というのは少なく思います。高齢者が増える中で、団体の中で横のつながりが必要である。ヘッドが何十年と行っていて活性化が薄れている所でもあり、活動そのものの内容についても役員の一部で検討しています。

使用期限(有効期限)の延長または無期限が良いとの意見多数あり

手続等が簡素化されると助かります

少子高齢化によりまちづくりへの参加者が減少し、今後さらにその傾向が進むと想定されます。高齢化はコミュニティ協議会や自治会の役員等にも同様に訪れ、担い手不足が全国的に問題となっています。そうした中で申請や報告手続き等が面倒な「まちづくりポイント制度」は時代にマッチしない施策ではないかと思えます。高齢化は今後も急ピッチで進むことであり、この財源を地域コミュニティや住民自治組織の担い手確保のために振替え、住民自治活動の支援を急ぐべきではないかと思えます。

制度の理解がされていない。理解を深めるための対策をしてほしい。

中々20枚はたまらない！10枚単位で使用(物の支援)できたらありがたいです。

町内会での配布(清掃等)で各回1枚もらっているが、使用するのに何年もかかるが有効期限が切れてしまう。有効期限をなくしてほしい。湯ったり館の終了でポイントが使えず、豊作村での苗等購入できず、他に利用できる方法、場所を増やしてほしい

長寿会の活動関心事はグランドゴルフとカラオケが主体です。これらの事にポイントシール活用はいかがですか？高齢者の健康推進・生きがいづくりに良いと思えます(長寿会減少を止めたい)。ポイントシールの使用場所が限定されている。窓口を広げる計画はありませんか(現状ではポイントシールの拡大力に乏しい)。

有効期限の延長

有効期限は必要か？湯ったり館もなくなり、魅力的な活用方法を考えていただきたい

有効期限を3年→4年に延長してほしい。シールがたまらない。わがまちクリーン大作戦は年3回から2回に減ってしまった。

有効期限をやめてほしい

【市民向け】まちづくりポイント制度アンケート調査 集計結果報告(令和6年8月実施)

アンケート調査の概要

■調査の目的

まちづくりポイント制度の運用開始から10年が経過したことから、市民活動への参加意欲や同制度の認知度・活用状況などを把握し、同制度の今後の方向性や、市民活動の促進・活性化などに向けた事業への参考とする。

■調査対象

市民(市内在住・在勤・在学)

■調査期間

令和6年8月5日から8月30日まで

■調査方法

インターネットのアンケートフォームを使用した調査

■回答数

479件

目次

回答者について

◆ 問1：性別	1
◆ 問2：年齢	1
◆ 問3：住まい	2

市民活動について

◆ 問4：現在、市民活動を行っていますか	2
◆ 問5：行っている市民活動の内容	3
◆ 問6：市民活動に参加していない理由	3

まちづくりポイント制度について

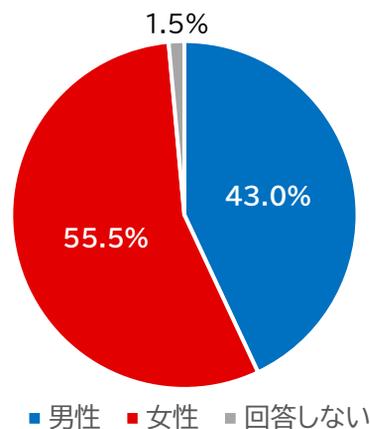
◆ 問7：まちづくりポイント制度を知っていますか	4
◆ 問8：市民活動に参加して、ポイントシールをもらったことはありますか	4
◆ 問9：まちづくりポイント制度は、市民活動参加への機会づくりや意識向上に有効だと思いますか	5
◆ 問10：有効と選択した理由	5
◆ 問11：有効でないと選択した理由	6～7
◆ 問12：参加したい・参加できそうな市民活動の内容	8
◆ 問13：ポイントシールの交換メニューにどのようなものがあると良いですか	9～10
◆ 問14：希望するポイントシールの配布方法	11
◆ 問15：その他、ご要望・ご意見	12～14

回答結果

【回答者について】

◆ 問1: 性別

	回答数	割合
男性	206	43.0%
女性	266	55.5%
回答しない	7	1.5%
計	479	100.0%

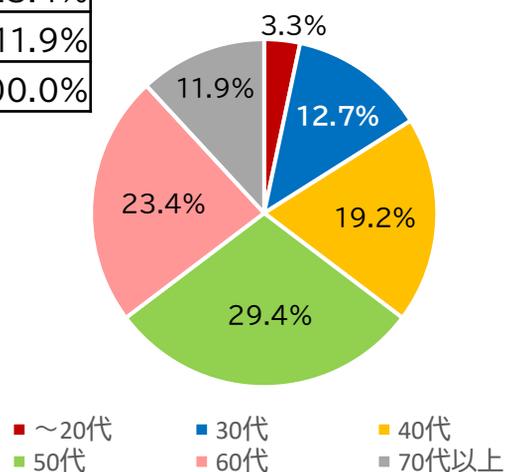


◆ 問2: 年齢

	回答数	割合
～19歳	4	0.8%
20～24歳	5	1.0%
25～29歳	7	1.5%
30～34歳	27	5.6%
35～39歳	34	7.1%
40～44歳	42	8.8%
45～49歳	50	10.4%
50～54歳	74	15.4%
55～59歳	67	14.0%
60～64歳	60	12.5%
65～69歳	52	10.9%
70～74歳	40	8.4%
75～79歳	15	3.1%
80歳～	2	0.4%
計	479	100.0%

▼右の表を年代別に集計した表・円グラフ

年代	回答数	割合
～20代	16	3.3%
30代	61	12.7%
40代	92	19.2%
50代	141	29.4%
60代	112	23.4%
70代以上	57	11.9%
計	479	100.0%



(クロス集計)年代×性別

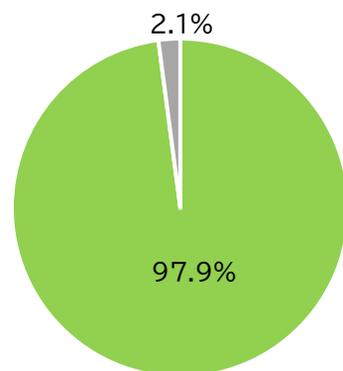
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
男性	5 (2.4%)	14 (6.8%)	44 (21.4%)	54 (26.2%)	49 (23.8%)	40 (19.4%)	206
女性	11 (4.1%)	45 (16.9%)	46 (17.3%)	85 (32.0%)	62 (23.3%)	17 (6.4%)	266
回答しない	0	2 (28.6%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0	7
計	16	61	92	141	112	57	479

- 男性・女性ともに50代の割合が多い。

回答結果

◆ 問3: 住まい

	回答数	割合
龍ヶ崎市内	469	97.9%
龍ヶ崎市外	10	2.1%
計	479	100.0%

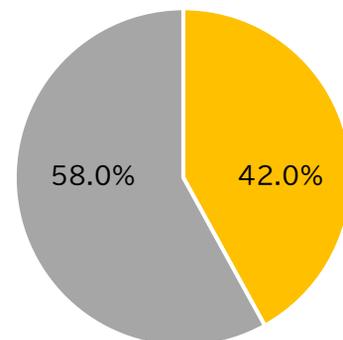


■ 龍ヶ崎市内 ■ 龍ヶ崎市外

【市民活動について】

◆ 問4: 現在、市民活動を行っていますか

	回答数	割合
行っている	201	42.0%
行っていない	278	58.0%
計	479	100.0%



■ 行っている ■ 行っていない

(クロス集計)年代×市民活動

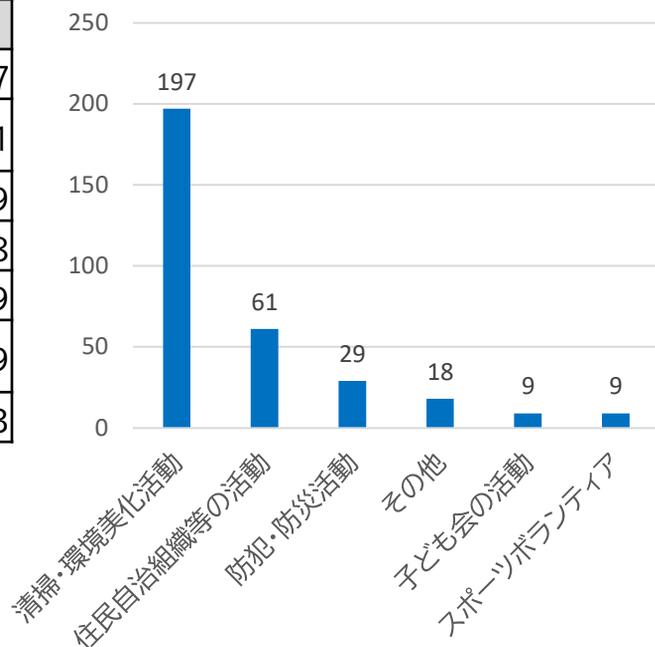
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
行っている	2 (1.0%)	14 (7.0%)	37 (18.4%)	53 (26.4%)	54 (26.9%)	41 (20.4%)	201
行っていない	14 (5.0%)	47 (16.9%)	55 (19.8%)	88 (31.7%)	58 (20.9%)	16 (5.8%)	278
計	16	61	92	141	112	57	479

回答結果

◆ 問5: 行っている市民活動の内容(複数選択可)

※現在、市民活動を「行っている」と回答した方のみ回答

	回答数
清掃・環境美化活動	197
住民自治組織(区・自治会・町内会など)や地域コミュニティ協議会の活動	61
防犯・防災活動	29
その他	18
子ども会の活動	9
スポーツボランティア(イベント協力、指導者など)	9
計	323



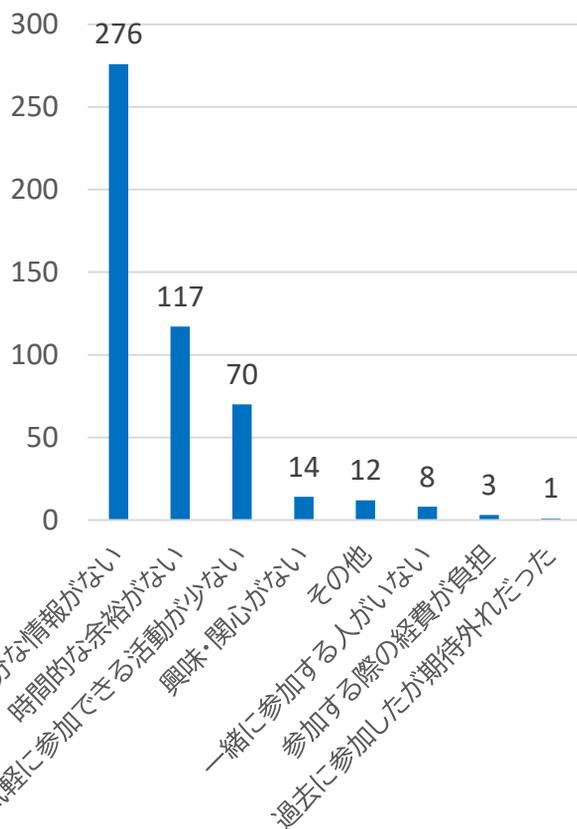
●その他の内容

- ・ 介護、福祉ボランティア
- ・ 小学校で発達障がい児童の支援員
- ・ 小学校・図書館での読み聞かせ
- ・ こどもの健全育成活動
- ・ ラジオ体操
- ・ 広報ボランティア
- ・ 料理ボランティア
- ・ 国際交流
- ・ 市民講座への参加
- ・ 歴史的価値ある建造物の保存活動
- ・ 地域情報発信活動
- ・ NPO法人の活動
- ・ JA婦人部
- ・ 日本DAO協会

◆ 問6: 市民活動に参加していない理由(複数選択可)

※現在、市民活動を「行っていない」と回答した方のみ回答

	回答数
市民活動に関する十分な情報がない	276
時間的な余裕がない	117
気軽に参加できる活動が少ない	70
興味・関心がない	14
その他	12
一緒に参加する人がいない	8
参加する際の経費(交通費等)が負担となる	3
過去に参加したが期待外れだった	1
計	501



●その他の内容

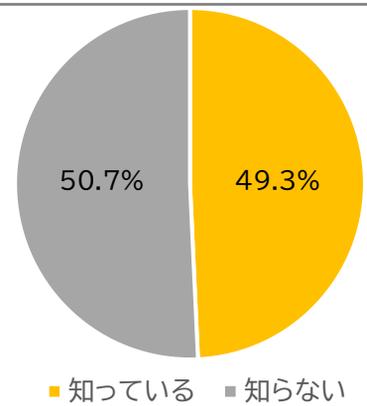
- ・ 参加したいと思う活動がない
- ・ 活動内容に賛同できないため
- ・ 自治会へは両親が参加しているため
- ・ 子供会、自治会組織がないため
- ・ 体調不良・病気療養中のため

回答結果

【まちづくりポイント制度について】

◆ 問7: まちづくりポイント制度を知っていますか

	回答数	割合
知っている	236	49.3%
知らない	243	50.7%
計	479	100.0%



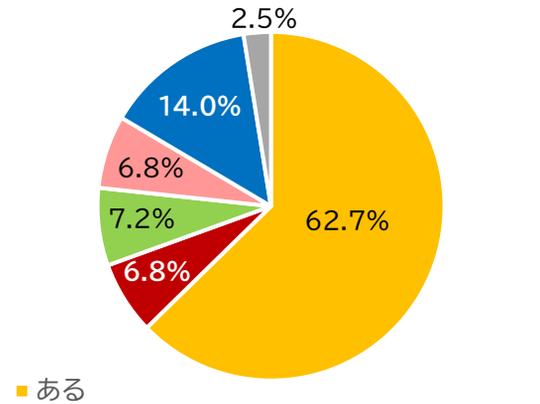
(クロス集計)年代×まちづくりポイント制度

	~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
知っている	5 (2.1%)	17 (7.2%)	46 (19.5%)	64 (27.1%)	58 (24.6%)	46 (19.5%)	236
知らない	11 (4.5%)	44 (18.1%)	46 (18.9%)	77 (31.7%)	54 (22.2%)	11 (4.5%)	243
計	16	61	92	141	112	57	479

◆ 問8: 市民活動に参加して、ポイントシールをもらったことはありますか

※まちづくりポイント制度を「知っている」と回答した方のみ回答

	回答数	割合
ある	148	62.7%
ない(シールを配布されたが、受け取らなかった)	16	6.8%
ない(市民活動に参加したが、シールは配布されなかった)	17	7.2%
ない(シール配布対象となる市民活動が分からなかった)	16	6.8%
ない(市民活動に参加したことがない)	33	14.0%
その他	6	2.5%
計	236	100.0%



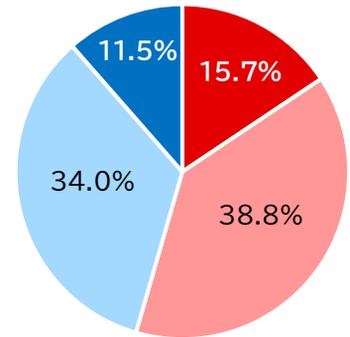
● その他の内容

- 貰った事も、貰えなかった事もある(貰えると知らず要求できず)
- 学校経由で交換申込した際、二口分なのに一口分の景品しか貰えず、市・学校とも双方のせいにし、子供が可哀想な目にあいました。
- 里親活動を毎日行ってます。ポイントシールを貰える団体では無いので活動しても貰うことが出来ず。以前は、駅前の清掃時に貰っていた。今ははるかに活動内容は上回っている。おかしいと思う。
- ポイント数をかせぐのが大変
- 自治会が貰っているはず
- 手間

回答結果

◆ 問9: まちづくりポイント制度は、市民活動参加への機会づくりや意識向上に有効だと思いますか

	回答数	割合
有効	75	15.7%
ある程度有効	186	38.8%
あまり有効ではない	163	34.0%
有効ではない	55	11.5%
計	479	100.0%



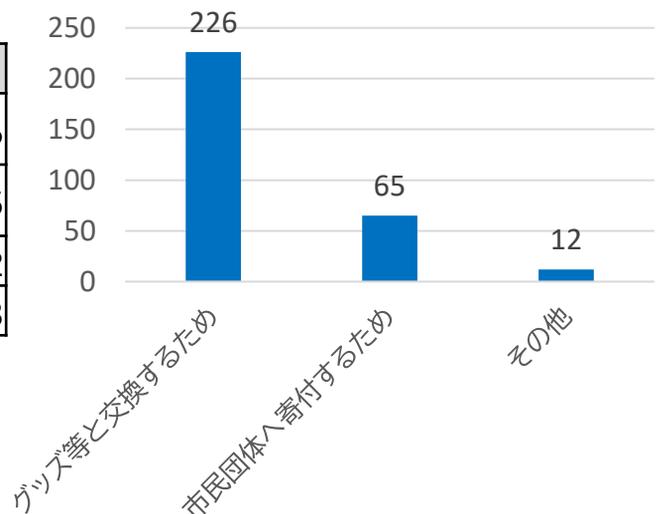
■ 有効 ■ ある程度有効
■ あまり有効ではない ■ 有効ではない

(クロス集計)年代×市民活動

	~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
有効	9	31	43	85	65	28	261
ある程度有効	(3.4%)	(11.9%)	(16.5%)	(32.6%)	(24.9%)	(10.7%)	
有効ではない	7	30	49	56	47	29	218
あまり有効でない	(3.2%)	(13.8%)	(22.5%)	(25.7%)	(21.6%)	(13.3%)	
計	16	61	92	141	112	57	479

◆ 問10: 有効と選択した理由(複数選択可)

	回答数
グッズ等と交換するために、市民活動に参加しようと思うから	226
市民団体へ寄付するために、市民活動に参加しようと思うから	65
その他	12
計	303



その他の内容

グッズと交換するために市民活動に参加するわけではないですが、いただけると参加したという実感がわきます。

グッズ交換したい人にはあと一つ集まればという意識がもてそうだから。

なんとなく参加してもなにか貰えたら嬉しく感じるから。

一緒に活動してくれる仲間を誘う時に、誘う理由の一つになるから。

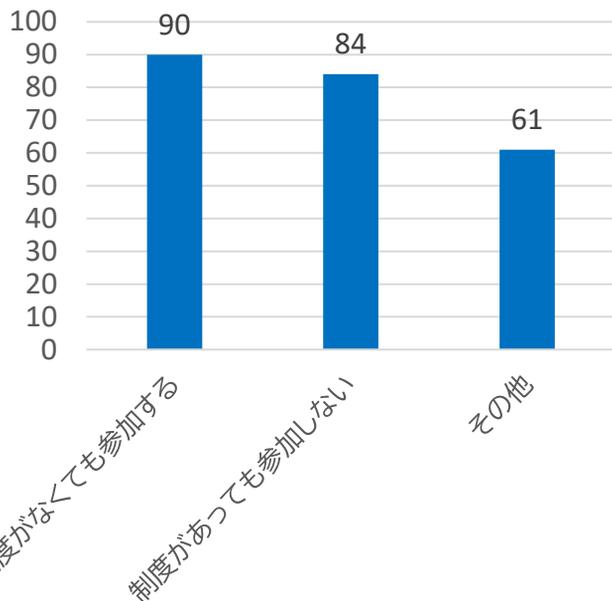
何かしらの活動をしていることを認めていただいているような思いになる。

やった感が出るから / 結果的に貯まるとうれしい / 興味関心を寄せやすい / 当事者のウェルビーイング度の向上
進んで活動するならいいのですが、やる人がいないという理由でやっている人にとっては何か利点が無いと続ける意味がない。ましてやボランティアみたいに自分の時間をさいて参加してるので何か徳することがないと参加する意味がない。

どんなグッズかわからない / モノではなく公共サービスの無料利用などにする。モノで釣るのはやめるべき

◆ 問11: 有効でないを選択した理由(複数選択可)

	回答数
制度がなくても、市民活動に参加することに変わりはないから	90
制度があっても、市民活動に参加しようと思わないから	84
その他	61
計	235



その他の内容(その1)

- あまり汚れていないのに清掃活動とはどんなもんか
- イベントなどで活動してもっと上の組織に阻まれそう
- シールがあってもなくても同じ。活動に見返りは欲しいと思わない
- 本当に活動したい人は見返りを求めていると思う
- 制度の有無にかかわらず、参加したい活動があれば参加すると思う
- ポイント制度などの問題ではない。考えが浅はか
- まちの環境が汚れていれば掃除するしかないのと、人がいないで放置状態になると自治会の運営にも支障するから
- 投資対効果が合っていないのではないかな? やってる感のサービスは辞めたほうが良い
- 市民活動への参加の有無はポイント制度には、関係無い
- 住民自治組織への加入にも関心を持たない人がいる。ポイントでは参加のインセンティブにならない
- 時間的余裕が無く参加できない
- 平日に活動できる人材は限られる。働き盛りの市民の多くは市外で働いているのでは? そのような人が休日に動けることも難しいと思う
- やる人は、やる、やらない人はやらない。時間に余裕があるなら考えますが沢山の人が時間に余裕が無いのでは?
- かなりポイントを稼ぐのが大変です
- ポイント自体が貯まるまでに回数を重ねたり複雑
- グッズ交換などのポイントを貯められる程の活動はしていない
- 制度を知らない人も多く、ポイントのもらえる活動も限られていてポイントが貯まらないから
- 実際、貯められ無いのでやめました
- 有効期限内にポイントが集められない
- 個人で活動するとなかなかポイントが貯まらない。有効期限があるので長期スパンで行動するとポイントが無効になる。
- ポインは貯まりませんでした。龍ヶ崎市民で恩恵を受けた方は一年間で何人いたのでしょうか又、地域別例えば松葉で何人若柴で何人と具体的に回答してください。自治会活動ではポインは貯まりません回答してください。
- 初年度しか貰ってないのと、有効期限の問題で自治会管理になった

◆ 有効でないとした理由(複数選択可)

その他の内容(その2)

制度があっても配布してもらえない事もあるし、たくさんポイントをためないとグッズ等に交換できない、有効期限切れで台無しになる、などがあり意欲を削がれるから

複数回参加出来るか分からないので交換まで貯めたいと思うか疑問

景品に興味が無い・いらない。

景品に魅力がない、手間に感じる。まいりゅうのグッズを貰っても特には感じない

どのような景品があるのかわからない

ポイントが自治会の収入源になれば合理的、有効的である

ポイントシールに惹かれない。PayPayポイント還元とかの方が惹かれる

ポイントとグッズの交換よりも現金の方が嬉しい

ポイントを交換する物によっては、必用無いものであれば続かないと思う

子どもが小さい時は一緒に楽しめたが、大きくなるとポイント制度そのものに魅力がなくなって来たから。高校生、大学生、大人目線でのポイント制度を作っても良いと思います

シールの使い勝手が悪くて無駄になる

邪魔。QRコードで読み取るポイントにしたほうがいい

シールはなくしそうだし、どのような制度なのかもはっきりわからないから

まちづくりポイント制度について、あまりよくわかっていません

ずっと龍ヶ崎に住むかわからないし、使い方もわからないので身近に感じない

制度が認知されてない。意味がないと思う。

制度の参加方法がわからないから。

そもそも市民活動が具体的に何か分からないから

興味のある市民活動がどこで行われているかわからない。

制度活用のハードルが高すぎる。

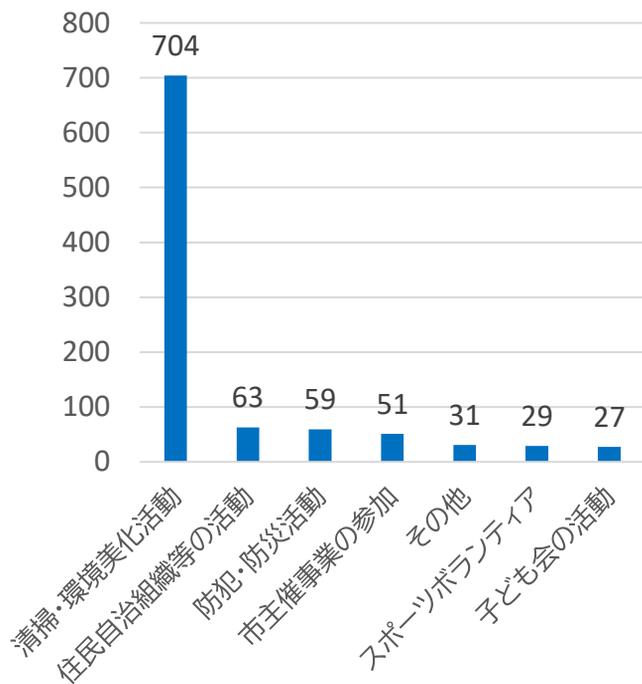
利用範囲が極めて不明瞭で、大方の方が不完全なポイント制度だとおもっている。クリーン作戦などで配布してもらえないと答える人が圧倒的に多い。絶対に要改善！

参加しても、最近ではシールが配布されない

市民活動に参加してもポイントシールをもらえなかったから。また、もらえる機会が少ないから

◆ 問12: 参加したい・参加できそうな市民活動の内容(複数選択可)

	回答数
清掃・環境美化活動	704
住民自治組織(区・自治会・町内会など)や地域コミュニティ協議会の活動	63
防犯・防災活動	59
市民活動センターや市主催事業の参加(講座、交流会等)	51
その他	31
スポーツボランティア(イベント協力、指導者など)	29
子ども会の活動	27
計	964



その他の内容

気軽に参加できるイベント等があれば

強制では無い、気軽に参加出来るなら

オンラインだけでできることなら

英語教室

音楽、芸術など文化関係

読み聞かせ

地域情報発信共有活動

動物保護活動

上下水道施設の電気設備改築更新設計の妥当性チェック

既に色々参加している

既に防犯連絡委員の活動をしている

興味はあるが、先程で回答したように時間がない

金銭が発生しない限り参加しようと思わないと思う。子供が小さく給付金も無い事も合わさり、時間にも金銭にも余裕が無い。

県外勤務のため現在は不可能

現在は難しい

参加したいとか、したくないよりも、もう少し全般的に広報活動に力を入れても良いと思いますし、市内の地域によっても活動内容が違うようなので、統一感を作った方が良いと思いますね。地域格差みたいなものを感じる時があります。活動やイベントを行ったのを後から知ったりすると。

参加したくない

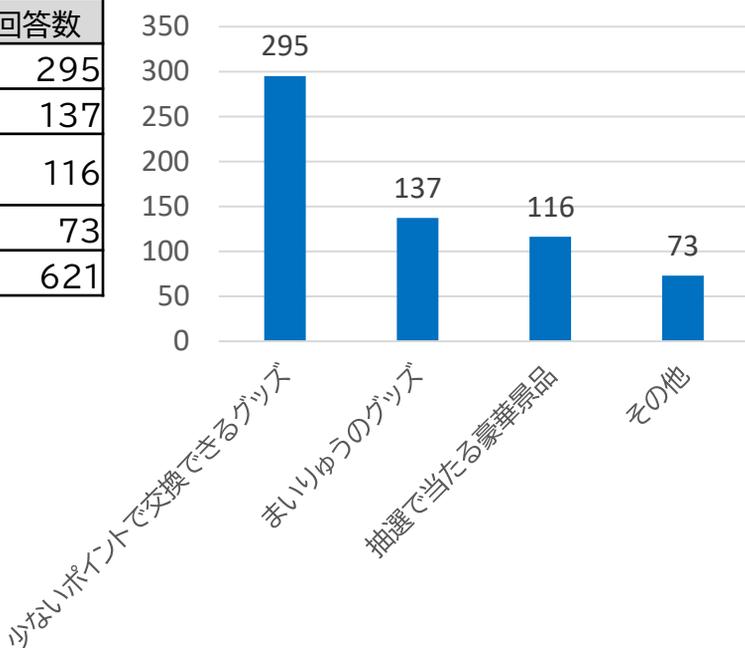
市がお金を出さずボランティアに頼るな

いまのところ思いつかない

特に無い

◆ 問13: ポイントシールの交換メニューにどのようなものがあると良いですか(複数選択可)

	回答数
少ないポイントで交換できるグッズ	295
まいりゅうのグッズ	137
抽選で当たる豪華景品(市特産品の詰め合わせなど)	116
その他	73
計	621



まいりゅうのグッズで具体的に希望する内容

キーホルダー、ストラップ

→ドラマ366日に出てきたようなもの/ぬいぐるみキーホルダー/反射するもの/小型のもの

ネームホルダー

ぬいぐるみバッジ

ぬいぐるみ、フィギュア、アクリルスタンド、置き物

→フォレストアドベンチャーのインスタグラムでスライダーを滑っていた比較的大きめなまいりゅう人形/まいりゅうの着ぐるみに似た大きなぬいぐるみ/小型のもの/ユーフォーキャッチャーで取りたい

スマホケース、小さい鏡、小物入れ

タオル、ハンドタオル、てぬぐい

→刺繍加工があるもの

バッグ、エコバッグ、絵本バック、手提げ袋

Tシャツ、ポロシャツ、キャップ

→ワンポイント程度の目立たないもの/使いやすいもの

靴下、軍手

ネックストラップ

クリアファイル、クリアホルダー

ステッカー、シール、切手

→持ち物に貼れる名前シール(大中小さまざまなサイズで)/車に貼れるもの/

ジップロック、ラップ、歯ブラシ

文房具、下敷き、メモ帳、ペン立て

食器、タンブラー

ミートアンドグリーティング権

ちびっ子が欲しくなるような立派で特別な、まいりゅうとのツーショット写真入り表彰状が良いです。親子で市民活動に参加をしてくれることを願って。

ドラマで使われた物

特別感があるように交換でしか手に入らない物、非売品でレアなもの。

子供が集めているので、子供が喜ぶもの

日常使えるもの

◆ 問13: ポイントシールの交換メニューにどのようなものがあると良いですか(複数選択可)

その他の内容

そういう視点の質問だから、そもそも無理だと思う。

そもそもポイント欲しさにやるのがおかしい

必要ない、要らない。ポイント制度には反対

ポイント支給から考えを変えるのが大事では？

ポイント自体が目的ではないので不要

シールはいらない・魅力を感じない・興味がない

ポイントシールにこだわるなら、アプリ対応に

ポイントを集める気にならない

ポイント交換じゃなくあげる

一枚から使えないと無駄になってしまう

一枚でも金額補助金になる。長期的な物は面倒くさい

楽天やDポイントなど民間サービスのポイントと交換できればよい。

地域通貨化して地域のお店や事業所で使える仕組み。龍ヶ崎パイを作る

換金性の高いもの、現金

税金免除、市民税の軽減

グッズにかかるお金ではなく税金を安くするなど、本当に市民が求めていることにしてください。間に業者が入ったようなものはいいです。

たつのこアリーナ・プールの利用券

少ない枚数(例えば1枚)でも、アリーナの割引等に使えたりすると貯めようと思うと思います

いばらきを食べようグッズ(特にトートバッグ)

防災グッズ

生活用品(キッチンペーパー、トイレペーパー、ティッシュ、ウエットティッシュなど)

抽選じゃなくもらえる市の特産品、お菓子

市内で使える商品券、割引券

市内大手スーパーやホームセンターなどで使えるもの

市内の料理店での食事券(市内に貢献できる使い道)

湯ったり館のサービス券や市内の個人経営の飲食店や販売店で使えるサービス券など、実用的でかつ助かる人がいるようなサービス

商品券とか、物価高に対応・交換できる物。グッズもらっても飾るしかできない。欲しい人は買うと思う。

市指定ゴミ袋や、昔のちり紙交換的なみんな共通に使う簡単な物

実用的な物。子育て世代・シニア世代、さまざま欲しいものは違います

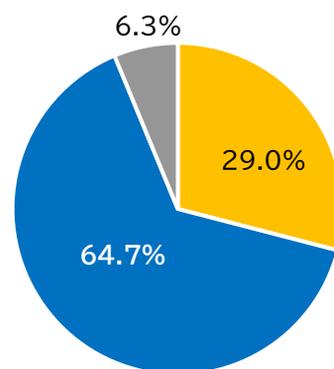
ウォーキングポイントと連携すればいいのに。

寄付

→小学校や、保育園幼稚園に利用出来る物資や補助金/子供食堂への寄付/地区の街頭電気代への寄付

◆ 問14: 希望するポイントシールの配布方法

	計	割合
紙媒体(現在の方法)	139	29.0%
電子媒体(スマートフォン等を利用してポイントを収集する方法)	310	64.7%
その他	30	6.3%
計	479	100.0%



- 紙媒体(現在の方法)
- 電子媒体(スマートフォン等を利用してポイントを収集する方法)
- その他

(クロス集計)年代×配布方法

	~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
紙媒体(現在の方法)	5 (3.6%)	18 (12.9%)	25 (18.0%)	36 (25.9%)	35 (25.2%)	20 (14.4%)	139
電子媒体(スマートフォン等を利用してポイントを収集する方法)	11 (3.5%)	42 (13.5%)	63 (20.3%)	95 (30.6%)	69 (22.3%)	30 (9.7%)	310
その他	0 (0.0%)	1 (3.3%)	4 (13.3%)	10 (33.3%)	8 (26.7%)	7 (23.3%)	30
計	16	61	92	141	112	57	479

その他の内容

カード形式で履歴や残高が印字されスーパーなどで支払いにも使えるかたち

買い物補助金として一枚で決済できるのが良い。多くの人はポイント目的ではないのでは？

シールの経費を福祉に当てられる方法の模索が希望

ブロックチェーンの技術を使った方法

まいりゅうカードのようにしたらよい

紙を貼るのは面倒 無くしてしまう場合も有る スタンプなど、携帯の使用が出来ない高齢者にも配慮が必要だと思います。又、子どもや若い人はスマホなどで、楽しく参加出来るようにしてはどうか？

長期的な視点なら電子媒体、短期的な視点なら紙媒体。幼児児童、高齢者なら紙媒体、それ以外は電子媒体。）

電子媒体がいいと思いましたが年寄りにはスマートフォン使っていないかもですね、でも紙だと無くしたり汚したりしそうです、何かほかにいい方法があれば。

子供は紙媒体で、大人は電子媒体でも可能な制度

紙、電子の選択制 / 紙と電子どちらもあると良いです。

両方 高齢者、小学生などは紙媒体で、分かりやすく。その他は電子媒体の方がやりやすかと。選択制

参加している人は高齢者。若い世代は少ないし、無反応。

対費用効果が見込めないから廃止しても良いと思う / 脱ポイント

それを考えるのがあなたたちのお仕事では？

どこで取り扱うのか不明確

特に無し / 興味無し / 必要ありません / シールはいらない / ポイントはいらない

◆ その他、ご要望・ご意見

~20代

学生が参加できる活動にどんなものがあるかの情報入ってこない。ゴミ拾い活動に参加しているが開催回数が少ないのでポイント交換までの期間が長い(少ないポイントで貰えるものが少ないと感じました)

市の何かに今日略したいと思うが、足がない。バスも分かりにくい。身近で参加できるものが欲しい。

30代

全て電子化。年齢によっては便利ですが、年寄る私からしたら、本当に不便。

地域が子供を見守ってくれてるとは思うけど自治会、子供会が役員も強制で集まりも強制だと仕事を休み取らないといけないし、予定も入れられない。土日などは他の予定もあるので厳しい。

どの活動でポイントがもらえるのかをりゅうほうなどで知らせるともっと活動に参加できると思う。

周りの人の名前もよくわからないぐらい関係性が無いため、参加しづらい。

40代

アプリなどもある時代なので、紙である必要はない。ポイントシールは有効な取り組みだと思うが、同じ活動なのに地域によってシールが出る出ないがあるのがもったいないと思う

シールの有効期限がなければいいのでは、と思います。短期間での多数参加を促すためだとは思いますが、期間内にやりたくてもできない場合、参加意欲が下がるのでは、と。

ポイントを以前集めていましたが、品物もらって無いと連絡しても取り合っ貰えなかったので2度と参加しません

ポイント手帳のことを知らなかったので認知度を上げて参加したくなるようにしてほしい

現行のポイントは個人では意味の無いレベルのポイント。廃止でもいいからもっと市が豊かになる方法に経費含め使って欲しい

最近の学校行事や委員会とかでもそうですがなんか利点が無いと進んでやる方は少ないと思います。それらの活動をやらないと手に入らないような物を提供する事や市の為にやるという事から免税とかも考えた方が参加者が増えると思います。

参加しようと思えるような企画運営に期待いたします。

このシールのために活動する人はいないと思います。また、シールの管理、製造など、手間や経費がかかるのだから、廃止して、自分の身近な場所は自分で綺麗にする、その精神だけで十分だと思います

コロナ対策が万全なら考える。ただ参加出来そうな内容のものがない。

シールの期限が短い気がします

好きな時間に気軽に参加できる活動があるといいです。

自分から知ろうとしない課題もあるとは思いますが、市民活動・市民サービスは、参加する、しない、受ける受けない、自由に選択できるものであると思いますので、まずは、市民誰もがその内容を認知出来るような広報活動に力を入れていただきたいです。『りゅうほう』もちろん、その手段の一環だと思いますが、まだまだ知ってる人と知らない人の格差があるようです。お願い致します。

住民が自治会町内の範囲で普段利用しない箇所の清掃活動をすることでポイント制度導入することが大きいと思う。

地域の集まりなどがあれば、顔見知りなど知り合いもできるので、防犯にも役にたつと思う。

地域別、学校別など団体ごとに活動を絞って(テーマを決めて)、活動した方が効率的だと思う。例えば、学校で活動した結果、学校の用品が貰えるなど。

◆ その他、ご要望・ご意見

50代

アプリ化して欲しい

ポイント制度があっても無くてもやる派…なので、わざわざポイントを貯めてなくてもなあと、ためたあとの使い勝手がまいち…というところがネックで集めるのをやめました。使い勝手が良くなければ、貯めるのは億劫だと思います。もう少し気軽に使えるとか、使えることのバリエーションが広がるとか、もう少し小口から使えるとか…そういった方向が貯めやすく…貯めたくなると思います。それとこの記入欄がスマートフォンだと狭くて前に入力したものが確認しづらいです。

活動しているのが、市役所職員や地域コミュニティ関係者が多い。この制度により活動に参加した人員は増えたのか？単発でも良いので、目立つことやったほうがインパクトあるのではないかな？

今後のポイント制度のあり方に期待したいです。

根気強い取り組みとバックアップ

市民活動やまちづくりポイント等知らなかったなので、まずそれを広めた方がいいと思う、周りでそんな話は聞いたことがありません。

市民活動を詳しく知りたい

周知して皆に浸透することが必要

若い夫婦・親子に市民活動に参加してもらうため「まいりゅう」ポイントシール手帳にしてください。今まで不参加だった年配者も孫と一緒に気軽に参加できるイベントを企画してほしいです。SDGSパートナーと協働で「まいりゅうとゴミ拾いイベント」などいかがでしょう

年に数枚しか集まらないので、期限を延ばすか無くして貰いたいです

配布されるポイントシールの有効期限を無くして欲しい。最大ポイントでの交換商品を希望する場合、家族総出で出られるだけの活動に参加し、合算してやっと手が届く感じなので、1人でも頑張れば手が届くようにして欲しい。(家族が非協力的、独り身の人でも恩恵が受けられるように)

有効期限をなくしたら参加しやすいです。活動に参加しても誰も集めていないようでシールをもらえなかったことがあります。

龍ヶ崎パイ作った方がいいよ

ポイントシールの期限が無いと良いです。子供達も参加できる内容があると良いです。

ポイントシールの配布を市民に任せているが、使い方がまちまちで、きちんと管理運用できていない団体も多いと思う。

ポイントシールの有効期限はないほうが良い

ボランティアポイント制度のDX化と経済的効果へ結び付ける仕組みとしていただきたい

子供もいないし近所付き合いもないため参加する気にもなれない

出来る限りデジタル化も視野に入れた展開希望いたします

多くの人の参加は、ネット利用を取り入れる。

余り期待をしていないので、特にはありません。

ない(2件)

◆ その他、ご要望・ご意見

60代

ポイント制ありきのアンケートになっているが、ポイント制を検討すべきでは。

ボランティアをする側もされる側もボランティアの意味を理解できていない人が多すぎます。

郷土愛があるから、まちづくりに興味が湧くのだと思います。龍ヶ崎市の誇れる所、物をハードとソフトで見つけて欲しいです。

今は配布してないからやってること知らなかった

市内商店街を活性化させるのにポイントシールを使えませんか？

他市町村の活動(先進的な取り組み)をもっと学習した方が良い。

同じ作業をしても、貰える人と貰えない人がいて不公平感が強い

忘れて期限が切れてしまうのももう少し有効期限を伸ばして欲しいです

ポイントシールに期限があるため、ポイント手帳に貼っていた最初の方のポイントシールが期限切れになった為、手帳そのものを処分したことがあります。ポイントシールを無期限に有効とするか、5年間ほどに有効期限を伸ばせないでしょうか。

一部のボランティアのみで活用されている様に思えるので、対象範囲をボランティア全般にして良いと思う。

学校で行う環境奉仕活動にも、ポイントを可能にして欲しい。

活動団体が 増加すると共に 市民参加の増加を期待します

市民の地域貢献はその音頭取りの数やパワーに依存するのでは？主催の組織やサークルへのポイントや支援を考えてみてはどうでしょうか。

上記の項目で記入しましたが、ゴミ袋代金花いっぱい活動の種代金水道代など全て私負担です。毎日かなりの仕事量。団体だとゴミ袋やお茶シールを頂けて、小さな所に何も無いのは不公平です。せめてゴミ袋は頂けましたら助かります。

誰もが気軽に参加できる方法をかんがえてください。

ここで希望するのは違うかも知れませんが…年3回の市民清掃の朝にあった防災無線の再開を希望します

クイズモールに市の施設を

コミュニティバスの充実(現状不便で使いにくい。)

オリンピック選手がいる町なのに、スポーツ店が無いのが残念です、Ks電気後空き店舗に入って欲しい

特に無し(2件)

70代以上

ポイントが諸団体のまとめ人へ

ポイントを交換する場所、品物が少ない。

ポイント目的で参加する人は少ないのでは？リピート目的に作られた用に受け止められる

もっとPRが必要

期間を設けない。

市が高齢化になり、比較的隙な人が多く、活動が魅力的なら参加するのでは。ニュータウンの住民は市への愛着が薄く、その啓蒙等が必要では。